

7月15日（木）

I-1	SARS-CoV-2 ナクレオカプシドタンパク質のリン酸化のおよびプロリン異性化酵素 Pin1との相互作用解析	井野 洋子	横浜市立大学 先端医科学研究センター
I-2	Claudin-9は子宮体がんの新規予後マーカーである	遠藤 雄大	福島県立医科大学
I-3	Phos-tag 対角線電気泳動を用いた血清中リン酸化タンパク質の解析法の検討	大川原 佑季	学校法人群馬パース大学大学院保健科学研究科
I-4	絹の質量分析法の改良と他の動物性繊維への応用	梶原 英之	農業食品産業技術総合研究機構（農研機構）
I-5	Bmi-1ノックアウトマウスと老化マウスにおける顎下腺ムチンの類似性	亀山 昭彦	産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門
I-6	臨床検査の電気泳動法における酵素のアイソザイム検査の問題点—アイソザイムによってKmが大きく異なるLDを例に—	楠 美理沙	埼玉県立大学 保健医療福祉学部
I-7	生体膜局所の脂質プロファイリングに向けた微量質量分析技術の開発	久保田 颯	九州大学
I-8	Phos-tag電気泳動法を活用したMAPK phosphatase (MKP) とMAPK経路の相互調節機構の解析	齊藤 まりこ	東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野
I-9	非変性等電点電気泳動分離したタンパク質複合体の溶出法の検討とその特性分析	島崎 洋次	愛媛大学大学院理工学研究科、愛媛大学理学部
I-10	悪性末梢神経鞘腫瘍の患者由来細胞株NCC-MPNST6-C1の樹立	申 育實	国立がん研究センター研究所希少がん研究分野
I-11	P2 Tag System: Development and analysis of a novel tag system using the anti-P2 monoclonal antibody	Kiho Tanaka	Microbiology, Yokohama City University
I-12	プロテオーム解析と患者由来肉腫細胞株により同定した悪性末梢神経鞘腫の新規治療薬候補	土屋 流人	国立がん研究センター研究所希少がん研究分野
I-13	In situビオチン化法を用いたB型肝炎ウイルスのコアタンパク質と相互作用する宿主因子群の探索	中居 佑介	横浜市立大学 医学研究科 微生物学
I-14	逆相タンパクアレイ (Reverse-Phase Protein Array; RPPA)技術基盤の最適化	中川 莉杏	学習院大学大学院、国立がん研究センター
I-15	早期肺腺癌患者におけるNAP1L1発現の予後予測マーカーとしての有用性について	長塩 亮	北里大学医療衛生学部臨床検査学
I-16	超高感度 CE-MS リピドーム分析に向けた新規オンライン試料濃縮法の開発	藤村 泰地	九州大学
I-17	ヒト血中プロレニンの分子存在様式	藤本 和実	文京学院大学 保健医療技術学部
I-18	アルファスクリーンを用いた血清中の抗HTLV-1抗体測定法の開発	船橋 利佳子	横浜市立大学大学院医学研究科 微生物学・分子生体防御学教室
I-19	近位ビオチン標識法と質量分析を活用した熱刺激誘導性液-液相分離顆粒コア蛋白質の探索	松田 碧	東京大学医科学研究所 分子シグナル制御分野
I-20	JDP2を介したインスリン遺伝子発現の促進と抑制	松本 涼花	香川大学農学部
I-21	患者由来「希少がん」モデルの樹立；機能的なオミクスデータの解釈に向けて	吉松 有紀	国立がん研究センター研究所 希少がん研究分野
I-22	大腸菌の共発現システムを利用したABLチロシンキナーゼアッセイ	吉本 萌々香	広島大学薬学部、広島大学大学院医系科学研究科